声Voice

ずばり言いたい聞きたい

民生委員の受け持ち世帯数について

平成17年12月1日現在の民生委員の名簿を見ましたが、旧恵那市の一人当たりの世帯数の最高は、関戸の397世帯である。一方少ないのは飯地南の45世帯、旧恵南地区では明智の阿妻の28世帯が一番少なく、100以下が大半である。物理的に300戸もの家庭を見回ることは無理ではないでしょうか。新市の定数があるならば見直しをするなど定数減をすべきではないでしょうか。

（匿名）

答 民生委員は、民生委員法に基づき市に設置された民生委員推薦会の推薦をもとに県の推薦手続きを経て、厚生労働大臣が委嘱します。定数につきましては配置基準があり、恵那市（人口10万人未満の市）は、全1万8621世帯に対して最小で66名、最大で155名の民生委員を配置できることとなっており、現在は139名で構成されています。

ご意見のとおり恵那市内の各民生委員が受け持つ世帯数はまちまちですが、山間地、住宅地、集落規模、生活形態など、地形や地域の特性に応じた配置を引き継いできた経過があります。地域の事情に沿った配置となるよう、これまで同様に恵那市民生児童委員協議会とも検討を行っていきたいと思います。

（社会福祉課）

各種教室へ参加したい

「山岡健康増進センター」の教室に興味があります。その中の「アクアビクス教室」に参加してみたいのですが、毎回、開催時間が夜なので、ぜひ昼間の時間帯にも参加できるようにしてほしいです。また「ヨガ教室」は申し込み初日の朝で定員がいっぱいになってしまいます。ほとんどリピーターの方だと思いますが、新しく参加したい人にも機会を与えてほしいです。

（匿名）

答 昼間の教室として「アクアビクス教室」という名前ではありませんが、年齢・性別に関係なく参加できるよう「水中運動教室」を開催します。講師を呼ぶものと施設職員が行うものを今後開催していきますので、ぜひご参加ください。

「ヨガ教室」は従来一つであったものを現在は3教室（2種類）開催しています。また他の施設でも行っていますので開催日時が合わない場合は、お問い合わせいただければご紹介します。

（山岡健康増進センター）

モニター通信

今年度市政モニターに委嘱された方のご意見と抱負を紹介します

●身近な人たちの話によく耳を傾け、単なる文句や苦情でない意見を上げていきたいと思います。

●新恵那市が新しい時代に耐えていけるように旧恵那市だけではなく、隅々の旧町村まで目の届く市政を望みます。

●恵那には資源が豊富にあり、地域振興に恵まれ、市内全域が公園であり美術館です。市民と行政の協働により、全国に誇れる都市になることを心から願っています。

●女性として、母として、子育て真っ最中の市民としての意見を出していきたいと思います。子どもたちが「将来住みたい」と思える恵那市になるようなまちづくりに、モニターとしてお手伝いできたらと思います。

●行政サービス全般、職員数、職員の質、窓口対応などで良いところ、不満に感じるところを私なりの考えで提案したい。また民間と役所の考え方が違うところも提案したいと思います。

●各自治会の人たちのいろいろな意見をモニターとして行政の方に伝え、繁栄させていきたい。

●恵那市を花いっぱいの街にしたい。新図書館についても、誰もが心豊かになる、ゆとりある図書館になることを望んでいます。

●一日も早く「合併できて良かった」と思うように市民がもっと恵那市を知り、素晴らしい「まち」にしたい。また将来、若者が住めるよう、活性化のために「祭り」などを提案したい。

●恵那市行財政改革大綱が行動計画に沿って進むことを願います。お互いがよく話し合い、理解し合って前に進むよう願っています。

広報えなアンケートにご協力を

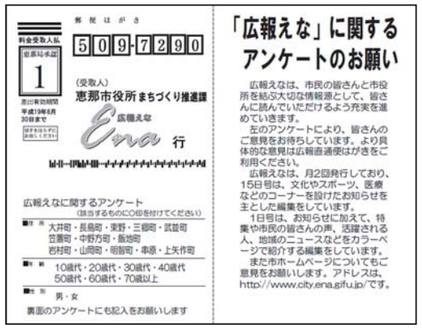
「広報えな」の担当は、4月からまちづくり推進課広報広聴係となり、さらに皆さんに身近で読んでいただける広報紙にしていきたいと考えています。

今月から広報えなに折り込んでいます広報直通便のはがきに加え、広報えなに関するアンケートはがきを折り込んでいます。アンケートは、現在の広報の内容について改善点をお聞きする内容になっています。ぜひご協力をお願いします。またホームページについてもご意見をお願いします。

具体的なご意見につきましては、広報直通便はがきをご利用ください。どんなことでも結構ですので、読んでいただける広報紙について、ご意見をお願いします。

□**問い合わせ** まちづくり推進課広報広聴係（内線313・314）

▼広報に折り込むはがきの全体。はがきが2種類あります。



▼アンケートの表面＝住所、年齢、性別を記入してください。

▼アンケートの裏面＝各設問にお答えください。

ちょっと一言インタビュー

思い出の笠置山
鷲見 真衣 さん
（中野方小学校6年生）

登りは急な坂がずっと続いて疲れました。でも、登り切った時の達成感と笠置山頂上にある神社の境内は、霧が不思議な世界を作り出していて、とても神秘的で心に残りました。

少年消防隊長として
近藤 義之 君
（長島小学校6年生）

4年生から消防隊に入隊して、防火訓練や消火器の使い方を習ってきたが、どれも難しかった。大きくなった恵那市少年消防隊の隊長として、1年間みんなを引っ張って頑張りたい。

わんぱく相撲4年生の部優勝
湯村 友大 君
（明智小学校4年生）

わんぱく相撲には1年生から出場していて、優勝は2年生の時と今回で2回目。この大会のためにお父さんと相撲の練習をしました。優勝できてうれしかった。県大会も頑張りたい。

しいたけを育てて
堀 陽介 君
（串原中学校3年生）

1年生からしいたけ菌打ちを行っているが、木の太さによって穴を開ける間隔が違うのでドリル作業が難しい。自分たちで育てたしいたけは、ほかより甘みがあっておいしかった。